

双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 「第3回 ふるさと創造学サミット」の開催について

双葉郡8町村では、福島県双葉郡教育復興ビジョンに基づく郡内共通の取組として、平成26年度より「ふるさと創造学」を推進しています。このたび、各校が一堂に会し学びの成果をポスターセッション形式で共有する「第3回ふるさと創造学サミット」を開催いたしますのでご案内申し上げます。

本年度は「伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び」をテーマに掲げ、子どもたちが町村や校種を越えて学びあい、多様な見方・考え方にふれ視野を広げる機会とすることを目指します。是非、当日の取材の程よろしくお願いいたします。

<開催概要>

1. 日 時 2016年12月3日(土)10時15分～14時30分(9時45分受付開始予定)
2. 会 場 ビッグパレットふくしま 多目的展示ホールA(郡山市南2丁目52)
3. 開催趣旨 「ふるさと創造学」の取組を共有し、学びを通じた交流で、地域のつながりをつくる
平成28年度スローガン:「伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び」
4. 参加者 双葉郡内小学校、中学校、高校の児童生徒、教職員および保護者、地域住民等
5. 内 容 各校の「ふるさと創造学」の取組を共有し合うポスターセッション
※ 詳細はタイムスケジュール及び別添案内チラシを参照ください

<当日の取材について>

取材は事前申込が必要です。取材を希望される場合は、媒体名、取材者、取材形態(ペン・スチール・ムービー)と連絡先を、11月30日(水)までに事務局へお知らせください

- ※ 取材時は、円滑な事業運営を妨げる行為(子供たちに接近しての撮影、発表中の参加者へのインタビュー等)は避けていただきますよう、お願いいたします。特にセッション中、前列は子ども優先でお願いします
- ※ リボンを付けた児童生徒については、一切の撮影(写真・ムービーへの映り込み)・取材を避けてください。その他児童生徒の撮影・取材許可や取材可能範囲は、現地担当者及び各校教職員の指示に従ってください
- ※ 取材にあたっては、腕章を装着してください

—本件に関する問い合わせ先—

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会 事務局(担当:山中・清野)

電話:024-504-2886 FAX:024-548-3181

Eメール:futabaeduc@fcs.ed.jp URL:<http://futaba-educ.net>

当日連絡先:070-6423-6446(山中)、080-3199-5281(清野)

<タイムスケジュール>

※運営上の都合により変更となる可能性があります

時間		プログラム	所要	セッションを開く学校								
開始	終了			内容	葛尾村	広野町	富岡町	浪江町	双葉町	檜葉町	大熊町	川内村
9:45	—	来場者受付・入場開始	—									
10:15	10:55	オープニングセレモニー:コマーシャルタイム	40分									
10:55	11:15	フリータイム:会場を自由に回る	20分									
11:15	11:35	セッション①	20分	葛尾小	広野小	ふたば 未来	富岡 一・二小	浪江・ 津島小	双葉中	檜葉中	大熊中	川内中
11:35	11:45	休憩・入れ替え	10分									
11:45	12:05	セッション②	20分	葛尾中	広野中		富岡 一・二中	浪江中	双葉 南・北小	檜葉 南・北小	熊町・ 大野小	川内小
12:05	12:45	小学生ランチタイム/中学生交流企画	40分									
12:45	13:25	中学生ランチタイム/小学生交流企画	40分									
13:25	13:45	セッション③	20分	葛尾小	広野小	ふたば 未来	富岡 一・二中	浪江中	双葉中	檜葉中	熊町・ 大野小	川内小
13:45	13:55	休憩・入れ替え	10分									
13:55	14:15	セッション④	20分	葛尾中	広野中		富岡 一・二小	浪江・ 津島小	双葉 南・北小	檜葉 南・北小	大熊中	川内中
14:15	14:20	休憩	05分									
14:20	14:30	クロージングセレモニー	10分									
14:30	—	閉会	—									

(主なプログラム)

- ◆ コマーシャルタイム (オープニングセレモニー内) : 各校代表の子どもたちが取組やサミットで発信したい内容等をPRします
- ◆ 学びあいセッション (20分×4回。小学校、中高校を2グループに分け各校2回ずつ) : 町村別スペースで、各校の子供たちが展示紹介や発表を行い、参加者との意見交換等を通じて互いに学びを深めます
- ◆ ランチタイム交流 : 小、中高生別に昼食時間を使って交流を図ります